

# 1 病棟 3 階西における看護婦教育プログラムの改善

—スタッフの意識調査より—

## 1 病棟 3 階西

○村雲智子 藤井晴枝 兼田知恵子 西村佳子 足利博美  
小林延江 和田美智子 野村香代子 宮武順子

### I. はじめに

平成12年4月よりHCU、CCU、無菌室の3部門で構成されていた1病棟3階西に高度救命救急センターが併設された。病床の内訳は、CCUを含むICU8床、HCU6床、無菌室4床となり、これに救急外来が加わった。それに伴い、より高度かつ専門的な技術や知識が必要となってきた。また平成11年10月より院内ローテーションと、他院からの採用看護婦が14名増員され、早急に新人看護婦教育も必要にせまられた。そこで、1病棟3階の看護婦教育プログラムに加えて、短期間で過密な勉強会(表1)を行ってきた。そのなかでスタッフから『勉強会を段階的にしてほしい』『勉強会が多く負担だ』『聞いても解りにくい』など様々な声がきかれた。そこで、今回私たちはスタッフへの意識調査を行い、その結果を検討し看護婦教育プログラム(以後プログラムとする)の改善を行った。

### II. 研究方法

#### 1. 対象

1病棟3階西 看護婦32名

#### 2. 方法

上記対象に、平成11年6月～平成12年3月に行われた勉強会について、意識調査をアンケート方式で施行。調査内容は、参加の有無と、勉強会の内容・時期・時間・時間帯についてを5段階評価、その理由は記述とした。それを参考にプログラムの改善を行った。

\* 5段階評価とは、5. 満足 4. やや満足 3. どちらでもない 2. やや不満足 1. 不満足とした

### III. 結果・考察

意識調査の結果、看護婦による講義は満足度が高く、内容・時間についてはおよそ90%以上がやや満足、満足と答えている。

内容的には、集中治療・救急看護の経験のある看護婦による講義や演習は解りやすく、即、実践に生かされたという意見が多かった。これは、救急外来開設に備えて、全くの救急看護未経験看護婦や経験の浅い看護婦が多いなか、実際の症例を振り返りながら行ったり、ベットサイドでの講義や演習を行ったりしたことで、理解しやすかったことが要因の一つと考えられる。

時間帯も80%近くがやや満足、満足と答えており、カンファレンスの時間を使用したこ

とや、勤務終了直後に行ったことで、少しでも時間的な負担は、軽減できたのではないかと考える。

また、できる限り全員が参加できるようにしてほしいという意見もあり、来年度は前期・後期とにわけ、2回ずつ計4回を計画し、時間的にも集中力が持続できると考える30分前後で計画した。

時期に関しては、もう少し早い時期がよかったという意見もあり、看護婦による講義は、医師による講義よりも早くか、もしくは同時期に計画した。

医師による救急処置・病態生理・全身管理についての講義は、いつどのような状態の患者が搬入されても、すぐに対応できるように、早い時期に講義が必要であり、また救急看護の経験前後で講義を受けられると、経験後の講義は、より知識が身につけてよかったとの意見もあり、これらをふまえ、早い時期に年2回ずつ計画した。

時間帯としては、講師の都合もあり、勤務終了後とし、時間は1時間程度がよいという意見が多かったため、1時間で計画した。

今回は、高度救命救急センター開設に向けてということで、それに関する講義が多く行われ、無菌室、CCU、HCUに関する講義が少なかったためか、これらに関する講義も増やしてほしいという意見も多く聞かれた。そこで、他科の医師にも講義を依頼、また、ローテーションで様々な科から当病棟へ配属となった看護婦も多いので、今までの経験を生かした看護について、講義・指導をしてもらうよう依頼し、計画に入れた。

新しいME機器の説明会は、業者によって行われたが、すぐに使用するということが少なかったため必要なかったという意見が多く、やや不満足、どちらでもない、満足度は低かった。今年度より臨床工学士が1名、1病棟3階に所属され、新しい機器やこれまでも使用していた機器に関しても、適切と思われる時期に、取り扱いなどの講義を依頼することにした。

週1回の朝のテーマカンファレンスは、看護婦全員が順番で、テーマを各々が考え、抄読を行った。これは現在入室中の患者に関連したものや、トピックス的なものも多く、興味深く感じられたためか、満足度が高かった。よって今後も継続していく予定である。

全体的には、今回行った講義の大部分の内容は必要だと感じている者が多く、満足度も、やや満足、満足が、過半数を占めていた。しかし、その反面、時期・時間・時間帯に関しては、間隔をおいて計画してほしい、講義が長すぎる、できるだけ勤務時間内や勤務終了直後に行ってほしい、という意見があった。

これらの意見を考慮しながら、なるべく過密にならないような、参加しやすい、有効なプログラム(表2)を作成した。

#### IV. まとめ

1. 高度救命救急センター併設に伴い、過密に行った勉強会について、スタッフへ意識調査を行った。
2. 勉強会の内容に関しては、満足度が高かった。
3. 時期や時間、時間帯に関しては、考慮してほしいという意見があった。
4. スタッフの意見を検討し、プログラムの改善を行った。

## V. おわりに

今回は、プログラムの作成にとどまったが、現在、新人および院内ローテーション看護婦のための、看護技術評価チェックリストを改善中であり、今後も専門的な知識や技術の修得に努めていきたいと考えている。

多様化する医療現場で、質の高いケアが提供できるよう、看護実践能力の向上をめざし、日々意欲的に取り組んでいきたい。

### 〈参考文献〉

- 1) 長久泉、羽鳥恵美子：プリセプターシップ研修の実施と強化したバックアップ体制，看護展望，24(5) 572～581, 1999.
- 2) 磯田典子他：ICUの新人教育および現任教育，ハートナーシング，13(2), 164, 2000.
- 3) 氏家幸子：新人教育における技術指導の今日的意義，看護展望，18(4), 418～422, 1993.
- 4) 穀山聡子、久保田加代子：オリエンテーションプログラムづくりの理念と基本，看護管理，1(2), 76～83, 1991.
- 5) 飯田裕子：院内教育における技術教育の位置づけと実際，看護管理，1(2), 98～103, 1991.
- 6) 渡辺淑子、関口妙子：当院ICUにおける新人教育，ハートナーシング，12(7), 15～21, 1999.

| テ ー マ         | 内 容             | 講師  | 回数 | 時 間                        | 実 施 日        |
|---------------|-----------------|-----|----|----------------------------|--------------|
| CCMC東への研修     |                 |     |    | 日勤2W. 準. 深. 救急             | H11. 6月～     |
| 造血幹細胞移植について   |                 | 医 師 | 1回 | 17:00-18:30                | 7月           |
| 患者急変時の看護      | 急変時の対応          | 婦 長 | 3回 | 14:00-14:30                | 7月12月 H12.1月 |
| 救急患者入室時の看護    | 院外心肺停止患者の対応     | 医 師 | 1回 |                            | 10月          |
| 院内感染対策        |                 | 医 師 | 1回 | 17:00-18:00                | 11月          |
| レントゲンについて     | 胸部レントゲンの見方      | 医 師 | 1回 | 17:30-18:30                | H12. 2月      |
| ME機器について      | 大量輸液ポンプ・呼吸器の使い方 | 業 者 | 1回 | 17:00-18:30                | 2月           |
| 救急患者入室時の対応と看護 | シュミレーション        |     | 2回 | 10:00-11:40<br>17:00-18:30 | 1月<br>3月     |
|               | ショック            | 医 師 | 1回 | 17:00-18:00                | 2月           |
|               | 多発外傷            | 医 師 | 1回 | 17:00-18:00                | 2月           |
|               | 初療室の点検          | 看護婦 | 1回 | 8:20-8:50                  | 3月           |
|               | 記録について          | 看護婦 | 1回 | 8:20-8:50                  | 3月           |
|               | CPA             | 看護婦 | 1回 | 8:20-9:00                  | 3月           |
|               | 低体温療法           | 看護婦 | 1回 | 8:20-9:00                  | 3月           |
|               | 多発外傷・交通外傷       | 看護婦 | 1回 | 8:20-9:00                  | 3月           |
|               | 中毒              | 看護婦 | 1回 | 8:20-9:00                  | 3月           |
|               | 自殺企図(絞首)        | 看護婦 | 1回 | 8:20-9:00                  | 3月           |
|               | 重症熱傷            | 看護婦 | 1回 | 8:20-9:00                  | 3月           |
| 人工呼吸器装着中患者の看護 | 人工呼吸器取り扱い時の注意点  | 看護婦 | 2回 | 8:20-9:00                  | 3月           |
|               | 肺理学療法           | 看護婦 | 2回 | 16:30-17:00                | 3月           |
| 小児集中治療看護      |                 | 看護婦 | 1回 | 17:00-18:00                | 3月           |
| テーマカンファレンス    |                 | 看護婦 |    | 8:30-9:00                  | 毎週水曜日        |

表1 H11. 6月 ～ H12. 3月 に行われた勉強会

| テ ー マ          | 内 容            | 講 師   | 回数 | 時 間                      | 実 施 日   |
|----------------|----------------|-------|----|--------------------------|---------|
| 人工呼吸器装着中患者の看護  | 人工呼吸器取り扱い時の注意点 | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00<br>16:30-17:00 | 4月・10月  |
| 救急患者入室時の対応と看護  | 初療室の点検         | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | 記録について         | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | CPA            | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | 低体温療法          | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | 多発外傷・交通外傷      | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | 中毒             | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | 自殺企図(絞首)       | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | 重症熱傷           | 看護婦   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | 家族へのケアについて     | 婦 長   | 4回 | 8:30-9:00                | 4月・10月  |
|                | シュミレーションまたは見学  |       | 4回 | 16:30-17:30              | 5月・11月  |
| 患者急変時の看護       | 急変時の対応         | 婦 長   | 2回 | 16:30-17:00              | 4月・10月  |
| 人工呼吸器の取り扱いについて | しくみ・組立て・作動方法など | 臨床工学士 | 2回 | 16:30-17:00              | 5月・11月  |
| CCU患者入室時の看護    |                | 看護婦   | 2回 | 16:30-17:30              | 5月・11月  |
| 脳外科疾患患者の看護     |                | 看護婦   | 2回 | 16:30-17:30              | 6月・12月  |
| 整形外科疾患患者の看護    | 鋼線牽引療法中患者の看護   | 看護婦   | 2回 | 16:30-17:30              | 7月・1月   |
|                | 脊髄損傷・脊椎疾患について  | 医 師   | 1回 | 17:00-18:00              | 9月      |
|                | 骨折について         | 医 師   | 1回 | 17:00-18:00              | 9月      |
| 精神科疾患患者の看護     | 自殺企図について       | 医 師   | 1回 | 17:00-18:00              | 2月      |
| レントゲンについて      | 胸部レントゲンの見方     | 医 師   | 3回 | 17:00-18:00              | 4月9月11月 |
| テーマカンファレンス     |                | 看護婦   |    | 8:30-9:00                | 毎週水曜日   |

表2 改善後の勉強会プログラム